事業名	綾の照葉樹林プロジェクトエリアにおける市民参加による自然林の復元調査（継続）及び自然林の調査（継続）	実施主体	NACS-J
項目−行動計画−実施項目	6−1−③	連携先	てるはの森の会
事業概要（目的）	人工林から照葉樹林の復元に必要な具体的手法を決定していくために、自然林に隣接する人工林、二次林において市民参加による林床調査、間伐を行い、その組成、構造、更新状態をモニタリングし、復元方法の検討に寄与する。		

11月30日　中尾国有林２０４５よ林小班に、追加で10m×10mのコドラートを設置し、
1.3m未満の個体について種名、高さ、被度の調査を行った。
ボランティア4名を含む8名で実施した。

事業名	ホームページ等の充実	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画-実施項目	6－2－③	連携先	
事業概要（目的）	綾の照葉樹林プロジェクトで実施している取組について、局ホームページ等に掲載し広く情報を発信した。		

九州森林管理局ホームページ「森林への招待」（綾の照葉樹林）や「広報九州」に、連携会議、ボランティアによる復元作業（間伐）、事業説明会等について掲載した。

「綾の照葉樹林プロジェクト」ホームページアドレス
http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/aya/index.html

【綾照葉樹林プロジェクト待ち受け画面】

（連携会議）

（ボランティア間伐）

事業名	保護林等の情報に関するHPの充実	実施主体	九州森林管理局
項目−行動計画−実施項目	６－２－③	連携先	
事業概要（目的）	保護林等に関する各種調査報告書を HP に掲載するなど、綾プロエリア内の保護林等に関する情報を更新した。		

林野庁HP「保護林等に関する調査報告書」の中で、平成２２年度以前の保護林や緑の回廊に関する各種調査報告書を掲載した。

（保護林等に関する調査報告書）
http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kakusyu_siryo/houkoku_top.html

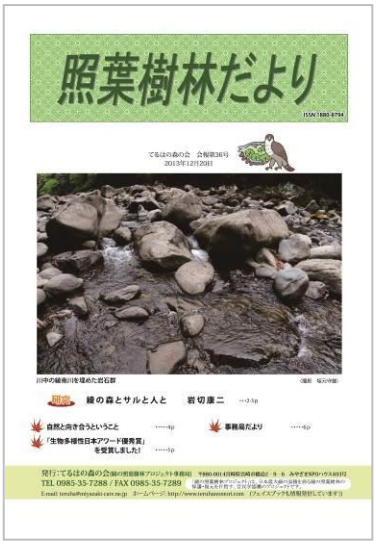
事業名	普及啓発事業（継続）	実施主体	てるはの森の会
項目−行動計画−実施項目	６－２－③	連携先	全
事業概要（目的）	ホームページの更新やニュースレターの発行、イベントでの展示ブース出展等の広報活動を行なう。 ホームページ上にて報告書を掲載。		

○てるはの森の会のホームページ
http://teruhanomori.com/

○てるはの森の会 facebook

○広報誌「照葉樹林だより」の発行

・第 33 号　5 月 20 日発行
・第 34 号　7 月 20 日発行
・第 35 号　9 月 20 日発行
・第 36 号　12 月 20 日発行
・第 37 号　3 月 20 日発行



照葉樹林だより　第 36 号

○2012 綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画報告書
http://teruhanomori.com/wp-content/uploads/ad380d26ed3e749379c4610ef09bd052.pdf

事業名	照葉樹林文化シンポジウム運営補助	実施主体	綾町
項目−行動計画−実施項目	6−2−④	連携先	綾の自然と文化を考える会
事業概要（目的）	実行委員会に対する補助。 昭和60年3月に「照葉樹林都市宣言」をし、その年に第1回照葉樹林文化シンポジウムが開催され、今回で18回目を迎えた。 「照葉樹林文化と日本神話」をテーマに、日本人の心のルーツを探ることを目的とし、今回のシンポジウムを開催し、60数名の参加があった。		

日　　時　　平成25年12月8日（日）午後１時30分～午後5時　　交流会　午後5時30分～
場　　所　　てるはの森の宿　研修室
参加人数　　約60数名

開会挨拶	シンポジウム実行委員長　郷田美紀子 綾町長　前田穣
基調講演	岡田勝運（宮崎市神話・観光ガイドボランティア協議会会長） 「神と森が織りなすムスヒの世界」 高見乾司（九州民族仮面美術館館長） 「山と森の精霊～神楽の「荒神問答」が語る自然と人間の協調の物語」
パネルディスカッション	パネリスト 岡田勝運 高見乾司 河野耕三 コーディネーター 郷田美紀子（照葉樹林文化シンポジウム）

岡田勝運氏による講演

高見乾司氏による講演

事業名	第５回照葉樹林研究フォーラムの開催	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画-実施項目	６－２－④	連携先	連携会議各機関
事業概要（目的）	学識経験者・市民を交えての「照葉樹林」に関する学習機会を設け、プロジェクトの普及・啓発を促進する。		

「第６回照葉樹林研究フォーラム　～照葉樹林の保全とユネスコエコパーク～」

日時：７月６日　１３：３０～１７：００
会場：綾町高年者研修センター
参加：１１０名

開催目的
：綾ユネスコエコパークでの照葉樹林の保全活動を支援するために、綾町の過去の取り組みから現在行われている取り組みまでを報告することで、照葉樹林を保全するための方策を考えるための情報共有を目的として開催した。

開催内容
：１３のテーマ発表を各５分間ずつ行い、意見を交した。

テーマ１「森の保全とユネスコエコパークとの関わり」
- 綾の照葉樹林プロジェクトの始まりと目的
- 綾町の自然保護の歴史Ⅰ～郷田町政時代～
- 綾町の自然保護の歴史Ⅱ～前田町政時代～
- 国有林の森林経営について
- 県有林の森林経営について
- 綾の里山づくり

テーマ２「綾からの発信」
- 綾町の有機農業・畜産業について
- 綾町におけるネイチャーゲーム活動
- 地域づくりワーキンググループの活動について
- 人と自然のふれあい調査
- 森の川の市民調査
- 綾町「いのち豊かな綾づくりプラン」について
- 綾町役場職員による「美しいまちづくり自主研究会」について

事業名	事業説明会の開催	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画-実施項目	6－2－⑤	連携先	連携会議各機関
事業概要（目的）	綾町民の方々を対象に事業説明会を開催し、各機関の取組等を説明した。		

平成２６年１月２８日綾町・高年者研修センターにおいて、地域住民約 60 名参加の下、綾プロ関係機関 5 者により「人とつながる綾の森林」をメインテーマに開催され、下記に記載した内容に沿った説明がなされました。今回は、「綾の国有林と生活の歴史」、「森の恵みが育む生業と生活」、「森での暮らし」と題して、明治から平成までの国有林との関わりや森からの恩恵受けてきた生活の歴史等について、当時の写真及び体験談を交えた説明を行いました。

また、後半では参加者による「森林と人との関わりを増やすために」と題してワークショップを実施し、今後の綾プロに活かす取組が行われました。

なお、説明内容は以下のとおりです。

(1)　「綾プロ事業報告」　　日本自然保護協会　　小此木 宏明

(2)　「綾の国有林と生活の歴史」　　宮崎森林管理署　　濱田 辰広

(3)　「森の恵みが育む生業と生活」　　綾町照葉樹林文化推進専門監　　河野 耕三

(4)　「森での暮らし」　　綾町民（黒木氏、中武氏）

事業説明会及びワークショップの様子

事業名	照葉樹林ガイドボランティア事業の実地	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画-実施項目	6-3-①	連携先	綾町
事業概要（目的）	② 照葉樹林ガイドボランティア実践活動 ②プロジェクトの視察、広報 ③綾の沢調査の実施協力		

① 照葉樹林ガイドボランティア実践活動

綾町照葉樹林の代表的景勝地大吊り橋周辺遊歩道2㎞をボランティアガイドの案内で散策する。　　参加者合計　14回　144名

実施月	実施回数	参加者数	実施月	実施回数	参加者数	実施月	実施回数	参加者数
4 月	1 回	2 人	8 月	4 回	44 人	12 月	なし	
5 月	なし		9 月	なし		1 月	1 回	11 人
6 月	なし		10 月	なし		2 月	1 回	21 人
7 月	2 回	16 人	11 月	5 回	40 人	3 月	なし	

・上畑体験ツアー1月11日、1月17日の2回実施した。　　参加者は31名
・ガイドスキルアップ講座は7月に実施した。　　参加者は 6名

② 視察対応　　計 7 回

4 月 22 日	月	多古羅林道視察（環境教育）	綾プロ
5 月 22 日	水	静岡県函南町森林組合	21 名
6 月 27 日	木	只見町	
8 月 27 日	火	成田空港地域共生・共栄会議	25 名
9 月 12 日	木	綾プロ環境教育エリア視察	綾プロ
1 月 21 日	火	対馬	
1 月 29 日	水	ＪＩＣＡイラン	6 名

③ 広報　　計 8 回

5 月 17 日～19 日		森の美術展（ロハスアワード）	新宿御苑
7 月 15 日	月	生物多様性地域セミナー	熊本阿蘇
8 月 6 日	月	美里町フットパス視察	熊本県美里町
9 月 10 日	火	ESD環境教育事業打合せ	熊本
10 月 20 日～22 日		北九州エコライフステージ	北九州
10 月 19 日～20 日		森のめぐみ博	東京おもちゃ美術館
10 月 29 日		生物多様性日本アワード授章式	東京国連大学
12 月 12 日～14 日		エコプロダクツ2013	東京ビッグサイト

④ 綾の沢調査

・論文発表「宮崎県綾町の林床に設置した昆虫トラップに誤って捕獲されたヤマネ（Glirulus japonicus）が捕食した昆虫種：胃内容物からの推定．林裕美子・森田哲夫．環動昆　第 24 巻 2 号　69－72 ページ（2013）
・第 37 回水生昆虫研究会（神戸）で口頭発表「マレーゼトラップで捕獲した成虫の種構成と幼虫期の摂食機能群の関係」

事業名	森林セラピー基地整備事業	実施主体	綾町
項目−行動計画−実施項目	6−4−①	提携先	
事業概要（目的）	日本有数の照葉樹林地帯である綾町は、平成19年3月22日に「森林セラピー基地」としての認定を受けた。そこで照葉樹林を含めた森林地帯をますます有効な地域資源として活用するため、森林・産業・観光・健康増進を組み合わせ、地域振興に資することを目的とする。		

①森の案内人定例会

森林セラピーに従事していただく森の案内人（25名）による定例会を開催。毎月定例にすることで、案内人同士のセラピーに対する考え方の統一性を図り、またお互いの情報交換やスキルアップをしている。

・案内実績　　298名（町内　20名、町外278名）※取材等も含む
・定例会実績　10回　　・役員会　2回　　・コース清掃　1回

②森林セラピー関係機関会議

九州・沖縄の森林セラピー基地の集まり、「九州・沖縄森林セラピー基地ネットワーク会議も３年が経過し、役員も交代となった。昨年度から福岡県篠栗町が事務局となり、篠栗町長が会長となった。本町は霧島市とともに副会長に就任。任期は２年となる。

・総会　　１回（宮崎市）
・担当者会（基地持ち回り）　　３回（日南市、日之影町、大分市）

③コース等整備

新たなコースは設定していないが、川中コースとまちなかコースをうまく利用し、梅雨時期から夏場、台風シーズンには、町内業者にコースの巡回と補修箇所があれば補修をお願いしている。

毎月１回の定例会（毎週第２月曜日）

２期生研修（日南市北郷町）

事業名	地域づくりワーキングの設置と運営	実施主体	てるはの森の会
項目−行動計画−実施項目	7-1-①	連携先	綾町
事業概要（目的）	地域づくりWGは、綾プロジェクトの推進体制や当プロジェクトを活用した地域振興等に関する事項を検討することを目的とする。 全８回実施　参加人数　117 人		

平成２４年より綾町の地域自然調査（MAP づくり）を進めている。事前調査が終わり、コースの検証とコース体験モニターツアーを行った。

上畑地区は数回の体験モニターツアーを行い、好評だった。2 月 8 日には宮原地区公民館で、自治公民館役員の方に、フットパスコースづくりの協力要請を行った。今後は、地域との協力体制づくりを進めたい。

	日　程	講　座　内　容	参加人数
1	H25.4 月 16 日(火) 9：30～13：00	ユネスコエコパークを利用した町づくり 宮原地区コース検証(現地)	4 人
2	H25.5 月 16 日(木) 19：00～21：00	今後の進め方 今年度のスケジュール	10 人
3	H25.6 月 4 日(火) 10：30～12：30	ユネスコエコパークを利用した町づくり 宮原地区コース決定	4 名
4	H25.7 月 18 日(木) 19：00～21：00	宮原、上畑地区のコース選定、 今後の進め方	10 名
5	H25.9 月 21 日(月) 15：00～18：00	ユネスコエコパークを利用した町づくり 現地検討会（上畑地区）	6 名
6	H25.10 月 24 日(木) 19：00～20：00	ユネスコエコパークを利用した町づくり 上畑コースの検証報告、綾城周辺コース案の作成	8 名
7	H25. 12 月 2 日（月） 13：00～17：00	ユネスコエコパークを利用した町づくり 綾城周辺コース現地調査 コース検証&ユネスコエコパークへの提案	3 名
8	H26. 3 月 25 日（火） 9：00～12：00	綾城周辺コース～尾立付近の散策 （桜並木他、春を楽しみます）	6 名

12 月 2 日

事業名	照葉大吊橋ビジターセンター運営事業	実施主体	てるはの森の会・
項目−行動計画 −実施項目	7-1-②	連携先	綾町
事業概要 （目的）	照葉大吊橋食堂跡地において、「てるは森の驛」（1F：無料休憩所、照葉樹林に関するパネル等を展示するネイチャーセンター、3F:飲食物を提供する軽食堂）を運営する。1Fに森の案内ビデオで森の案内をし、2Fには、木のおもちゃで遊べる木育体験コーナーを設置している。 本年度は、1F ビデオコーナーセンサースイッチと案内表示を新たに設置した。		

○3F:　飲食物を提供する軽食堂「てるは森の驛」

食堂のようす

○2F 和室を木育広場として活用

木育広場

○1F：森の紹介ビデオコーナー

ビデオコーナー

窓表示

事業名	ふれあい調査(継続)	実施主体	NACS-J
項目−行動計画−実施項目	7−1−③	連携先	てるはの森の会 綾町
事業概要 (目的)	地域の人たちと自然とのふれあい(土地の自然に対する思い、生活での自然とのかかわり、照葉樹林とのかかわり等)を調べることで、地域の自然とくらし、文化、歴史など地域の価値を再発見する。これを照葉樹林プロジェクトにおける資料として活用し、人々の思いを大切にしながら、住民参加のもと、照葉樹林の保護・復元を進めるものである。		

本年度も引き続き、杢道地区にて実施。アンケート結果から杢道地区にとって重要な事柄をマンダラにまとめ、それを基に成果物をどういうものにするのか話し合い、同時に聞き取りを進めた。

◆事業実施内容

	実施日	内容	出席者数
1	5 月 29 日	ふれあい曼荼羅（アンケートの集計結果）からの抽出作業	１５人
2	8 月 29 日	聞き取り・場所の確認作業	１０人
3	10 月 11 日	地図、成果物についての話し合い	１４人
4	2 月 12 日	成果物作成作業	６人
5	3 月 15 日	成果物の確認	９人

事業名	綾ユネスコ エコパーク専門委員会	実施主体	綾町
項目－行動計画－実施事項	7－3－①	連携先	てるはの森の会 日本自然保護協会
事業概要（目的）	人文、社会科学も含めた全ての学問領域が協力し、持続可能な取組を達成するために、エコパーク推進業務を補助し、その結果を評価すること。		

■第１回　綾ユネスコ エコパーク専門委員会

１　日　時　　平成25年7月7日（日）　午前10時~午前12時10分

２　場　所　　綾町役場会議室

３　出席者　　委員　西脇亜也（宮崎大学農学部教授）、入谷貴夫（宮崎大学教育文化学部教授）、
遠藤晃（南九州大学人間発達学部准教授）、岡野隆宏（日本ＭＡＢ計画委員）、
中島淳（内閣官房地域活性化伝道師）、朱宮丈晴（(公財）日本自然保護協会）、
河野浩之（林野庁九州森林管理局計画部計画課課長）、
石田達也（てるはの森の会事務局長）、河野耕三（綾町照葉樹林推進専門監）
オブザーバー　宮崎県中山間・地域政策課　山下栄次、自然環境課　山本真一
日本ＭＡＢ計画委員　酒井暁子

４　委嘱状交付・・・任期２年

５　議事
(1) 平成２４年度　綾の照葉樹林プロジェクト事業報告について
(2) 平成２５年度　綾の照葉樹林プロジェクト事業計画について
(3) 綾ユネスコ エコパーク推進計画基本方針（案）及び行動計画（案）について
① 移行地域を管理する組織体制について
② 綾が目指す方向と方針について
③ 中・長期目標の設定について
(4) その他
・ ロゴマークを活用したラベリングについて

６　意見交換
・ 町民が共感できる基本方針と中・長期目標の検討を
・ 理念・コンセプトを重んじた取組の展開を

町長あいさつ

傍聴者　屋久島からも６名参加

事業名	自然観察指導員講習会	実施主体	綾町
項目−行動計画−実施項目	7−3−①	連携先	日本自然保護協会
事業概要（目的）	自然保護の考え方や自然観察の手法を基礎から学び、お互いの交流を深め、自然保護・自然教育活動の普及・実践者となる自然観察指導員を育成すること。		

■ 自然観察指導員講習会　開催

1　日　時　　平成25年11月2日（土）・3日（日）・4日（月・祝）

2　場　所　　てるはの森の宿及びその周辺

3　参加者　　受講生32名、講師4名、講師補助（自然観察指導員資格者）7名

4　内　容　　11月2日（土）
(1)　野外実習①・・・自然観察の視点について説明
(2)　屋内にて講義・・自然観察の視点及び観察のやり方について説明
(3)　情報交換会
11月3日（日）
(1)　早朝観察会
(2)　野外実習②・・・自然観察の素材について説明
(3)　野外実習③・・・自然観察会の企画方法について説明
(4)　野外実習④・・・受講者がミニ自然観察会を開催
11月4日（月・祝）
オプショナルツアー「綾の森を見てみよう」
照葉樹林ボランティアガイドの案内で、川中国有林の巨樹の森、川中神社、ボランティア間伐地、製材所跡などを巡る。

事業名	町づくり協議会準備会の実施	実施主体	綾町
項目−行動計画−実施項目	7−3−①	連携先	
事業概要（目的）	ユネスコ エコパークについて、町民の理解を深め、積極的な町づくりへの参加を促進すること		

■ 町づくり協議会準備会　開催

1　日　時　　平成25年11月29日（金）　午前10時~午前11時30分

2　場　所　　綾町役場会議室

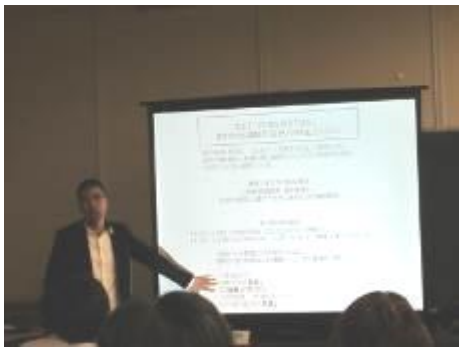
3　出席者　　町内各団体代表１９名

4　説明
(1) ユネスコ エコパークの概要について
(2) ユネスコ エコパークの審査基準について
(3) 綾ユネスコ エコパーク町づくり協議会の役割と組織について
(4) これからの綾町の町づくり計画（案）について

5　講話「まちづくり視点からのエコパーク」　講師　中島　淳氏

6　意見交換
・町づくり協議会の開催が、年２回では少ない。
・エコパークについて知らない町民が多い。
・移住者は外からの発想や視点をもつので、活用すべきである。

会場の様子


中島 淳氏による講演

事業名	持続発展教育(ESD)とユネスコスクールの推進	実施主体	綾町
項目−行動計画−実施項目	7−3−①	連携先	
事業概要（目的）	子ども達が問題意識を持ち、それを解決に導く力を身につけるように指導し、子ども達の生きる力を養うこと。小学校と中学校と連携して行うことで、コミュニケーション能力が高まり、学力向上に結びつくと思われる。		

■持続発展教育＋ユネスコスクール研修会

1　日　時　　平成25年5月15日（水）　綾小学校教員　２１名
　　平成25年7月19日（金）　綾中学校教員　２５名

2　場　所　　てるはの森の宿　研修室

3　講　師　　南九州大学　遠藤晃准教授、綾町企画財政課　中原係長

4　内　容　　(1)　ユネスコエコパークの概要説明
　　(2)　持続発展教育（ESD）＋ユネスコスクールの概要説明

■　平成２６年２月２７日　綾小・中学校ユネスコスクール登録決定

CERTIFICATE

Aya Elementary School
Higashimerokate-gun, Miyazaki
Japan

is a participating institution in the UNESCO Associated Schools Network
engaged in a programme for International Cooperation and Quality Education for All

Date　27 February 2014

Irina Bokova
Director-General of UNESCO

CERTIFICATE

Aya Junior High School
Higashimerokate-gun, Miyazaki
Japan

is a participating institution in the UNESCO Associated Schools Network
engaged in a programme for International Cooperation and Quality Education for All

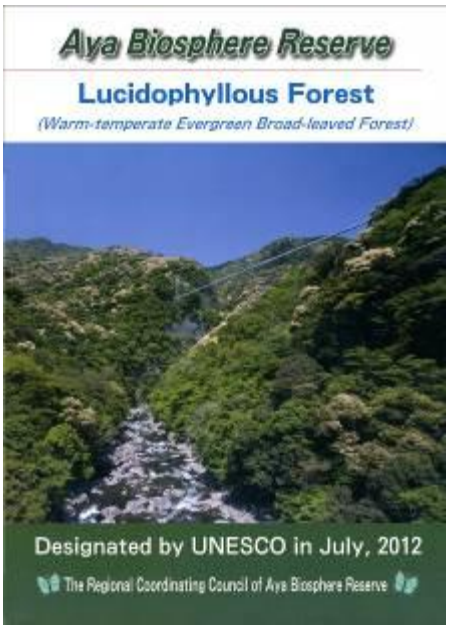
Date　27 February 2014

Irina Bokova
Director-General of UNESCO

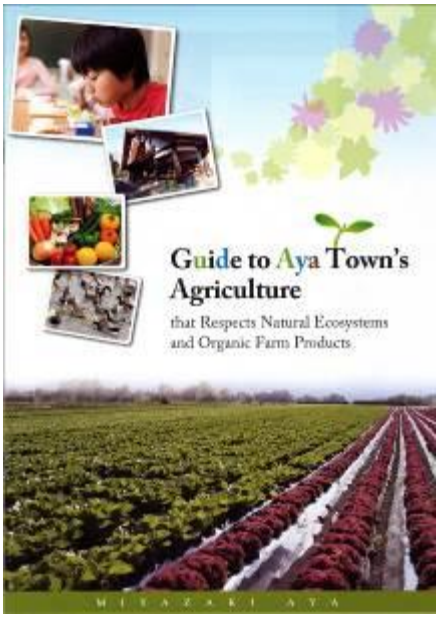
事業名	綾ユネスコ エコパーク運営事業	実施主体	綾町
項目−行動計画−実施項目	新　規　7−3−①	連携先	
事業概要（目的）	英語版パンフレットの作成		

2012年ユネスコ エコパークに登録され、今後ますます海外からの問い合わせが増えることが見込まれることから、英文パンフレットを作成した。

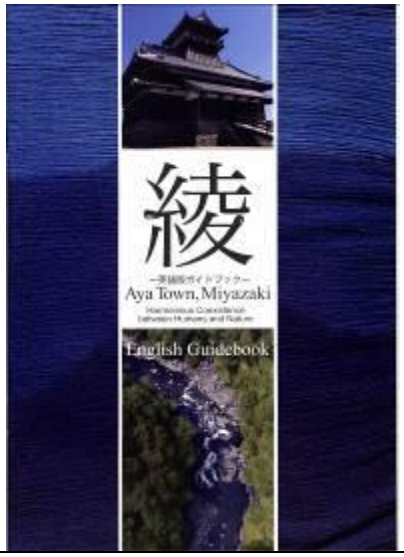
ユネスコ エコパークパンフレット



自然生態系農業パンフレット



観光パンフレット



事業名	綾ユネスコ エコパーク年間活動	実施主体	綾町
項目−行動計画−実施項目	7−3−②	連携先	
事業概要（目的）	自治体主導では、日本で初めてユネスコエコパークに登録された先進地として注目を集め、特に、研究者や今後登録を目指す自治体などからの問い合わせが相次いだ。		

1　視察対応　　３６団体

【行政関係】　静岡県函南町／愛知県経済同友会／福島県只見町／
兵庫県丹波市議会／徳島県取手市議会／宮崎県知事／
熊本県甲佐町／三重県大台町／青森県議会／
対馬市役所／和歌山県かつらぎ町／静岡県川根本町

【教育関係】　宮崎西高校附属中学校／龍谷大学／日本大学生物資源科学部／
京都大学教授他３名／宮崎大学准教授他６名／追手門大学／

【海外関係】　韓国鎮安郡／韓国鎮安郡群守・議員／ペンシルバニア大学／
ＪＩＣＡイラン森林行政官研修視察団／韓国光州全南地方自治アカデミー

【そ の 他】　国際ソロプチミスト／東京植物研究会／JA 共済／J ICA 職員／
成田空港関係団体／川南町赤十字奉仕団／日本で最も美しい村連合理事／
日本環境アセスメント協会／JICA ボランティア宮崎 OB 会／
宮崎県社会福祉協議会／北海道黒松内ブナセンター学芸員／
衛生公社関係者／串間市ふるさと水辺を守る会

2　シンポジウムおよび講演会の実施　　１５回

【ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ】　照葉樹林研究フォーラム／
「美しいエコパークタウン綾」フォーラム／
森林をめぐる伝統知と文化に関する国際会議／
第１８回照葉樹林文化シンポジウム

【講 演 会】　九州地区種苗組合研究会／宮崎土地改良連合会／ＭＲＴキープ宮崎審議会／
宮崎ロータリークラブ／港区エコプラザエコパーク展／
木城町福寿学校／公益社団法人宮崎法人会／
「ユネスコエコパークと地域振興シンポジウム」（福島県只見町）／
アジア国立公園会議／徳島大学上勝学舎／
九州地区自立ネット全体会議

3　取材対応　　宮崎日日新聞社／朝日新聞／毎日新聞／読売新聞社
ドキュメンタリーJapan／MRT／NHK 国際放送／
日本銀行／高所得者向け雑誌「ナイルスナイル」など

平成２５年度活動実績　計１８６日　２４５回（※別紙参照）

事業名	里地の植生調査	実施主体	日本自然保護協会
項目−行動計画−実施項目	8−1−①	連携先	綾町 てるはの森の会
事業概要 （目的）	照葉樹林の内の植物相については情報が多いが、里地の情報は未だ少ない。綾の奥山と里山の関係性を明らかにするためにも里地の植物相について把握することは重要であり、調査を実施する		

１１月１日：釜牟田～倉輪にかけて植生調査を行った。
この地域は、綾町内でもっとも伝統的里山里地植生や景観が残されている地域である。

調査結果は以下の報告書の資料となり、とりまとめられた。
『平成24・25年度　綾ユネスコエコパーク生物生育・生息基礎調査　報告書』
維管束植物（河野耕三）
（平成26年3月　綾生物多様性協議会　発行）

事業名	生物多様性地域戦略策定～ワーキングの設置及び運営	実施主体	日本自然保護協会
項目-行動計画-実施項目	8−1−②	連携先	てるはの森の会 綾町
事業概要 （目的）	綾町における生物多様性地域戦略の策定はユネスコエコパークとしても重要であり、今後の綾プロエリアを含む地域の生物多様性に関する方向性を決めるものとなることからワーキングを設置し策定をす進める。また町民にとって自然との関わりとして重要な地域はどこかアンケート調査を実施し、保全すべき場所を選定する。		

日本自然保護協会、てるはの森の会、綾町で、生物多様性協議会を設立し、検討を重ねた。７月11日に役場向けワークショップを実施し、夏期に全町民向けふれあいアンケートを実施し、住民にとっての重要地域を抽出した。生物多様性基礎調査も実施し、生きものの視点から見た重要地域と住民から見た重要地域を重ねながら、それぞれの地域で必要なことを話し合うワークショプを1月27日に住民向けワークショップ（上畑地区）、２月１４日役場向けに行い、その成果もふまえて、生物多様性地域戦略の骨子案を作成した。今後、内容の精査を測るとともに、ワークショップ等を重ねて、平成26年度中に完成させる見通しである。

【いのち豊かな綾づくりプラン　綾町生物多様性地域戦略　目次案】

はじめに　　豊かな命　つなぐ　綾
第1章　綾町をみつめる
　綾町の　森　里　川　と人の営み、綾を守る歴史、新たな綾町の発見
第2章　いのち豊かな綾づくりプランの基本的考え方
　いのち豊かな綾づくりプランがめざす姿（＝目標）
　プランの担い手と実施体制
第3章　自然と命を輪でつなぐ
　期待される行動一覧
　1. 分断化された照葉樹を復元し、つながりを高める アクション
　2. 照葉樹林や里やまの自然と人？を結ぶ
　3. 公民館が結ぶ地域のつながりを高める
　4. 先人の取り組みを未来につなぐ人を育てる アクション
　5. 綾の取り組みを世界につなぐ、
　地域毎にみた将来像
　＜Aエリア：川中神社～綾の照葉大吊橋～千尋の滝　周辺＞
　＜Bエリア：千尋の滝周辺～上畑橋周辺＞
　＜Cエリア：馬事公苑～ほんものセンターなど町中＞
　＜Dエリア：綾川荘～小田爪橋、杢道公園周辺＞　＜その他の地域＞

【人と自然のふれあい重要地域アンケート調査　結果】

	町民（全戸）	小学校４年生～中学校３年生
回収枚数（枚）	1,734	386
大切な場所と記入された場所（地点）	2,614	481
綾町内を500m×500mのマス目（メッシュ）で区切った際、大切な場所カウントされたメッシュ数	40,403	978

事業名	綾 BR(ユネスコエコパーク)地域 生物調査 及び 地域戦略 策定事業 （継続）	実施主体	綾町
項目－行動計画－ 実施事項	8－1－③	連携先	日本自然保護協会 てるはの森の会
事業概要 （目的）	住民参加型の生物多様性地域戦略を策定するために、(ア)地域戦略原案の作成、(イ) 生物調査の実施、(ウ)市街地に生物多様性再生区を設定し身近なところで生物多様性と触れ合える場所を設け、（エ）生物多様性の重要性と生物多様性戦略の必要性を広く住民に知らせる広報活動や講習会を開催する。		

ア　生物多様性地域戦略原案作成事業

	内　　容	備　考
協議会 開催	綾生物多様性協議会打ち合わせ 2013 年 8 月 5 日～2014 年 2 月 21 日まで、全 5 回開催 （内容）生物多様性地域戦略原案作成の進め方、内容の協議 各種ワークショップの内容の協議	延べ 43 名参加
全町民 ｱﾝｹｰﾄ調査の活用	「人と自然のふれあい重要地域アンケート調査」協力と活用 2013 年 7 月：地域戦略原案に活用 （全戸配布・綾小、中学校配布）	2,120 枚回収
意見交換会の開催	「生物調査者　意見交換会」2014 年 1 月 15 日 （内容）重要種および重要なエリアとその環境、それを保全するためのアドバイス	17 名参加

イ　生物調査事業

	内　　容	備　考
生物調査 実施	綾ユネスコ エコパーク全域を対象に、生物相の基礎調査を実施。	13 分野 15 名/団体
報告作成	「H24・25 年度　綾ﾕﾈｽｺｴｺﾊﾟｰｸ生物生育・生息基礎調査」	

ウ　生物多様性再生区域設定事業

	内　　容	備　考
協議会 開催	再生区域整備に関する打ち合せ(場所：役場裏湿地) 2013 年 6 月 27 日～11 月 12 日まで、全 3 回開催 （内容）目的や管理方法、施工方法の協議	延べ 26 名参加
モニタリング調査	埋土ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ調査 2013 年 7 月 12 日、11 月 1 日の全 2 回実施	延べ 16 名参加
設計･施工	設計図作成・水路作成の施工を開始（2014 年 2 月下旬～）	

エ　生物多様性普及啓発事業

	内　　容	備　考
ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ 開催	一般町民向け懇談会の開催：2014 年 1 月 27 日 26 名参加 役場職員向け懇談会の開催：2013 年 7 月 11 日 27 名参加 2014 年 2 月 14 日 17 名参加 (共同開催)綾中学校 1 年生向け懇談会の開催 ：2014 年 2 月 6 日 82 名参加	延べ 152 名参加

発　行：平成 26 年 6 月
発行者：綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画 連携会議
編　集：一般社団法人てるはの森の会
お問い合わせ先：
〒880-0014 宮崎県宮崎市鶴島２丁目９－６ みやざき NPO ハウス 403 号室
TEL:0985-35-7288　FAX:0985-35-7289 電子メール:teruha@miyazaki-catv.ne.jp
ホームページ: http://teruhanomori.com